

## デイリー・ジーザス・ニュース #333

### イエスの復活と永遠の宣教

#### 空の墓

女性たちは使徒たちに報告する。

ペテロとヨハネが空の墓を訪れる

ヨハネ20.2-9 ( 並行聖書：ルカ24.9-11 )

=====

「墓から帰って来た婦人たちは、これらのことを十一人の使徒たちと他のすべての人々に告げました。マグダラのマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、そして彼女たちと一緒にいた他の者たちが使徒たちにこのことを告げました。しかし、使徒たちは婦人たちの言葉を信じませんでした。彼女たちの言葉がナンセンスに思えたからです。

2マグダラのマリアがシモン・ペテロと、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところに行って来て、こう言った。」主を墓から取り去ってしまいました。どこに置いたのか、私たちには分かりませ。ん」

3そこでペテロともう一人の弟子<sup>L</sup>は立ち上がり、<sup>J</sup>は墓に向かって走り出しました。4二人は走り出しましたが、もう一人の弟子のほう<sup>J</sup>がペテロより先に走り、先に墓に着きました。5彼は身をかがめて、そこに置いてある亜麻布をのぞき込みましたが、中には入りませんでした。

6それからシモン・ペテロが彼の後ろからついて来て、<sup>L</sup>は<sup>J</sup>にかがみ込み、墓の中にまっすぐ入った。彼はそこに亜麻布が置いてあるのを見た。7イエスの頭に巻かれていた布もそこにあった。布は亜麻布とは別に、元の場所に置かれたままだった。

8ついに、先に墓に着いたもう一人の弟子も中に入って行き、見て信じました。9彼らはまだ、イエスが死者の中から復活しなければならないという聖書の教えを理解していませんでした。ペテロは、何が起こったのかと心の中で不思議に思いながら、立ち去りました。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

# THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

## コンテキストダイジェスト

位置	ゴルゴタ近くの新しい園の墓
タイムライン	4月上旬 ( 39ヶ月目 )
イエスの生涯の文脈	第9段階：イエスの復活と永遠の宣教
	イエスの復活と40日間の宣教
	日曜早朝：空の墓
タイトル：	女性たちが使徒たちに報告する『ペテロとヨハネが空の墓を訪問』

今日の朗読では、並行して記された記述を「融合」することの利点が改めて実感されます。福音書の各記述を単独で読むと、墓にいる女性たちと天使たち、マグダラのマリアとイエス、そして主がすべての女性たちに現れたという出来事の正確な順序が、互いに直接矛盾しているように見えます。

これは長年、筆者にとって新約聖書における最大の未解決の矛盾でした。しかし、テキストを統合し、すべての情報を同時に考察する過程を経て、この謎は解けました。私たちの年代記は、すべての問題をシームレスに解決します。この問題とその解決策は、イエスが女性たちの集団に現れた箇所を扱った今後の朗読で詳しく説明します。

女たちは園の墓を出て、使徒たちがまだ隠れているエルサレムの二階の部屋へと向かった。マリアは先を急ぎ、大勢の女たちよりも早く到着していた。彼女はペテロとヨハネに、イエスの遺体が見当たらないことを直接伝えた。これは、マリアと他の女たちが、天使がイエスの「復活」を告げた言葉を、イエスの遺体が石の上に横たわっていたところから引き上げられ、運び去られたという意味だと誤解していたことを示している。彼女たちはイエスの遺体が持ち上げられたことは知っていたが、誰が、どこに置かれたのかは知らなかった。

間もなく他の女たちが到着し、天使からのメッセージを使徒全員に伝えました。イエスが「復活した」という彼女たちの言葉は、彼女たちには無意味に思えました。女たちと同じように、彼女たちもイエスは呪いを受けて死んだと信じており、神の義によって復活するなど考えられませんでした。彼女たちが予想していたのはイエスの復活ではなく、すべての情報をその観点から解釈したのです。それは彼女たちにとって愚かなことでした。

この報告を確認するために墓に行ったのはペテロとヨハネだけだったという事実は、使徒たちが女性たちの証言をどれほど無視していたかを物語っています。ペテロは、死の直前にイエスをひどく失望させた後、イエスへの忠誠心を示すために何かしようと必死でした。ヨハネは使徒たちの中で最も霊的に敏感で、混乱しているように見えたが、彼の直感は何か重要なことが起きていることを告げていました。

ヨハネはペテロより若かったので、彼を追い抜いて先に墓に着きました。この頃には衛兵たちは正気を取り戻し、墓が空っぽであることに気づき、命拾いしようと町へ逃げ込みました。ヨハネは墓の中を覗き込み、亜麻布に何かとても奇妙なものを感じました。ペテロへの敬意から、彼は墓には入りませんでした。

ペテロは到着すると、息つく間もなく、すぐに墓へと向かった。彼はヨハネが見た亜麻布について、すぐに同じことに気づいた。もしそこにいたなら、見逃すはずがない。あの布に一体何がそんなに重要だったのだろうか？

ヨハネはこの箇所で、埋葬布を描写するためにギリシャ語の完了形を4回用いています。これは、埋葬布がイエスの遺体に巻かれていたのと同じ状態で横たわっていたことを意味します。重要なのは、イエスの遺体が布をまっすぐに通り抜け、布が輪になったまま元の位置に落ちたということです。もし布がイエスの遺体から引き剥がされていたら、人間の手であの位置には戻せなかったでしょう。布が輪になったままでいられる唯一の方法は、布が巻き付いていた遺体が瞬時に消え、石板の上に落ちてしまった場合です。

一方、イエスの顔を覆っていたナプキンは、他の布から取り外されていました。イエス自身がそうしたのです。これが唯一の説明でした。

亜麻布の位置の証拠は、ヨハネがイエスの復活を予言する聖書の記述をまだ理解していなかったにもかかわらず、イエスが死から復活したことを確信させるほど強力でした。ヨハネは、空の墓と埋葬用の亜麻布という物理的な証拠に基づいてイエスの復活を信じた最初の人物でした。しかし、彼が最後の人物となることはなかったでしょう。

ペテロはまだ復活を信じていなかったが、布の位置が明らかに示唆することを理解しようと、驚愕のあまり茫然と墓を後にした。その日の後ほど、イエスが彼に現れ、すべてを明らかにすることになる。

応用：

イエスは復活の際、聖書に約束されている復活を信じるように弟子たちに繰り返し告げました。同時に、あらゆる証拠がイエスの復活を証明しています。空の墓は紛れもない歴史的事実です。これは何を意味するのでしょうか。

証拠から導き出される論理的結論はただ一つ、イエスが死から復活したというものです。他の説明はすべて事実と一致しません。

ヨハネが復活したイエスを見る前に、証拠に基づいてイエスの復活を信じたように、すべての人もそうすべきです。私たちクリスチャンは、聖書から復活の証拠を知り、考えられるあらゆる説明を理解し、聖書、証拠、そして私たち自身の個人的な経験に基づいて、イエスは確かに復活したと大胆に宣言する準備をすべきです。そのためには、ある程度の学びが必要です。

*復活とそれに関する理論をどのように研究し、それについてどのように証言しますか？*

この分野は「復活弁証法」として知られています。このテーマについては数多くの書籍が出版されています。「復活弁証法」でGoogle検索すれば、必要な情報がすべて見つかります。

*出発点として、Gary R Habermas の本と Web サイトを特にお勧めします。*